

～神戸市立博物館「デ・キリコ展」によせて～

薄井憲二バレエ・コレクション常設展

vol. 99

デ・キリコのバレエ 『舞踏会』

会期／2024年9月5日(木)～12月10日(火)

(※休館日はwebでご確認ください)

企画・構成／関典子(薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)

2024年9月14日～12月8日、神戸市立博物館で開催される「デ・キリコ展」は、ジョルジョ・デ・キリコの約70年にわたる画業を「イタリア広場」「形而上的室内」「マスカン」などのテーマに分けて紹介し、さらに、彼が手掛けた彫刻や舞台美術も展示する、かつてない規模の回顧展です。

この「デ・キリコ展」との連携として、薄井憲二バレエ・コレクション常設展では、デ・キリコが舞台美術と衣裳を手掛けた『舞踏会』(1929)をご覧ください。バレエ・リュス公式プログラムの表紙や舞台写真からは、「歪んだ遠近法」「脈絡のないモチーフの配置」「幻想的な雰囲気」によって、「日常の奥に潜む非日常」を表したデ・キリコ作品の、また一味違った魅力をお感じいただけることでしょう。

ジョルジョ・デ・キリコ (Giorgio de Chirico 1888-1978)

ギリシャ＝イタリアの画家、舞台美術家。「形而上絵画」と名付けられた作品群がシュルレアリストらに大きな衝撃を与えるなど、20世紀美術を代表する画家である。舞台美術家としても異彩を放ち、「彼のシュルレアリスティックで建築的なヴィジョンは、最も印象的な舞踏の舞台装置に数えられる」。『オックスフォードバレエダンス事典』著：デブラ・クレイン、ジュディス・マックレル／監訳：鈴木晶／平凡社／2010/p.139

彼が初めて舞台作品に関わったのは1924年、バレエ・スエドワの『壺』だった。1929年にはセルゲイ・ディアギレフ率いるバレエ・リュス『舞踏会』の衣裳と美術を担当。同年8月のディアギレフの死と共に解散したバレエ・リュスの最後から2番目の作品となった。その跡を継ぐバレエ・リュス・ド・モンテカルロを率いたド・バジル大佐の依頼を受け、『プルチネツラ』(1931)、『プロテウス』(1938)にも関わった。

1942年、デ・キリコは次のように語っている。
——「子供たちにとっておもちゃや物語が大切なものと同様に、私たち大人にとっては劇場が重要だ。劇場の真の目的は、我々が幻想的なものや虚構について感じる必要性を充たすことであり、また、現実から逃れる手段を我々に与えることなのである」。『終わりなき記憶の旅：デ・キリコ展』カタログ／監修：マウリツィオ・ファジョーロ・デラルコ、木島俊介／「イーゼルから舞台へ：人生よりも生命感のある世界」／日本経済新聞社／2000/p.161

バレエ『舞踏会 (Le Bal)』

初演：1929年5月7日、モナコ：モンテカルロ歌劇場
台本：ボリス・コフノ

(ウラジーミル・ソログープ伯爵の小説に基づく)

振付：ジョージ・バランシン

音楽：ヴィットリオ・リエティ

美術・衣裳：ジョルジョ・デ・キリコ

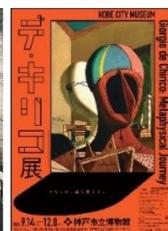
出演：アレクサンドラ・ダニロワ、アントン・ドーリン、
ジョージ・バランシン、セルジュ・リファール、他

仮面舞踏会を訪れた青年将校は、老いた占い師と仮面の女性に出会う。将校は彼女に恋をするが、仮面を外すと、現われたのは老婆だった。舞踏会が終わり、将校が立ち去ろうとした時、仮面の女性と老いた師が仮面を外すと、美男美女の恋人同士の姿が現われた。茫然とした将校は彼らを追いかけてようとするが、彼を監視していた巨大な彫像に行く手を阻まれるのだった——。

仮面舞踏会というポピュラーな題材ながら、この物語の夢幻性は、人間の心の二重性、多義性、欺瞞性を表象している。デ・キリコが手掛けた背景は「3つの扉のある家の正面」と「舞踏会が行われる大広間」の2種。衣裳にはエンタシス(胴張りのある円柱)やコーニス(軒蛇腹)など古代ギリシャ・ローマ建築様式の断片が散りばめられた。背景の壁と衣裳の生地は同じ大理石模様であったため、ダンサーたちは、さながら「動く彫刻」のように見えた(しかしその重さと硬さのため、この衣裳を着て踊ることはかなりの困難を伴った)。

主な出展資料

- ◆ PRBR-OF-34・35・36 バレエ・リュス公式プログラム／『舞踏会』／舞台美術・衣裳：ジョルジョ・デ・キリコ／フランス：サラ・ベルナール劇場／1929年
- ◆ AB-34 限定書籍／『セルジュ・リファール：ダンサーの運命』／フランス／1934年
- ◆ BK-2988-bd カタログ／『魅惑のコスチューム：バレエ・リュス展』／監修：薄井憲二、ロバート・ベル／国立新美術館・TBSテレビ／2014年



参考映像

- ◆ ローマ・オペラ座バレエ『舞踏会』(2008)
<https://youtu.be/cjRUKtDHIWw?si=0717t7K402VAHB1A>
- ◆ デ・キリコ展 神戸市立博物館 (カンテレ channel)
https://youtu.be/bALcUeq1Uk8?si=bxkz_1l2oWa8XSGO



兵庫県立芸術文化センター

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町 2-22

tel: 0798-68-0223 fax: 0798-68-0212

※ 禁無断転載・複製・引用